

## ★岩国基地内大学Q & A集★

### ■岩国基地内大学の概要■

#### 基地内大学とは？

在日米軍基地内には、「米軍人、軍属及びその家族」のための高等教育の場として、大学があります。現在、岩国基地にはメリーランド大学（UMGC: University of Maryland Global Campus 本部メリーランド州アデルファイ Adelphi, Maryland）があります。

メリーランド大学では、「米軍人、軍属及びその家族」を優先しますが、定員の一部にこれらに該当しない日本人就学生を受け入れています。

#### 岩国基地内大学にはどんな施設・設備がありますか？

基地内には、大学の独立したキャンパスはありません。基地教育センターの建物の一部に、事務室、教官室、講義室、実験室などがあります。同じ建物の中に図書室があります。

#### 出願資格は？

次のいずれにも該当する方です。

- A. 日本国籍を有し通学可能な範囲内に居住する方で次のいずれかに該当する者
  - (1) 高等学校を卒業、または卒業と同等以上の学力があると認められる者
  - (2) 大学入学資格検定、又は、高等学校卒業程度認定試験合格者
  - (3) 高等専門学校3年次修了者
- B. 大学が定める入学条件（英語資格、取得期限）を満たしている者  
または当該入学条件と同等以上の語学力があると市が特に認めた者

| コース名                   |  | ブリッジプログラム   | 正規コース                       |
|------------------------|--|---|-----------------------------|
| 入学に必要な英語資格<br>(いずれか一つ) | TOEFL iBT<br>TOEFL iBT Home Edition                | 45点   | 71点                         |
|                        | TOEFL ITP  | 450点  | —                           |
|                        | IELTS<br>(アカデミックモジュール)                             | 4.0点  | 6.0点                        |
|                        | 英検<br>英検 S-CBT                                     | 2級  | 準1級                         |
|                        | TOEIC<br>Listening & Reading<br>Speaking & Writing | Listening 275点<br>Reading 275点<br>Speaking 120点<br>Writing 120点<br>※4技能全部の条件を満たしていること | —                           |
|                        | Duolingo English Test                              | 75点   | 95点                         |
| 取得期限                   |  | H31(2019).4.1以降に<br>取得（5年以内）  | R4(2022).4.1以降に<br>取得（2年以内） |

詳しくは、募集要項をご覧ください。

## 学費はいくらですか？

授業料と管理費は、単位数で計算します。(1 講座は通常 3 単位)

| 正規コース  | 学 費        | ブリッジプログラム   |
|--|------------|---|
| \$ 50  | 初 回<br>登録料 | \$ 50   |
| \$ 250(1 単位あたり)  | 授業料        | \$ 250(1 単位あたり)   |
| \$ 5(1 単位あたり) ※通学講座のみ  | 管理費        | \$ 5(1 単位あたり)   |
| ●初めて受講する学期に、通学講座を 1 講座<br>(3 単位) 登録した場合の金額<br>初回登録料 \$ 50+ (授業料 \$ 250+<br>管理費 \$ 5) × 3 単位 × 1 講<br>座<br>= \$ 815+教材費 | 参考         | ●必修 5 科目を受講した場合の学費合計<br>初回登録料 \$ 50+ (授業料 \$ 250+<br>管理費 \$ 5) × 3 単位 × 5 科目<br>= \$ 3,875 +教材費 |

教材費が別途必要です。学費は前払いで、受講登録時にその都度クレジットカード、デビットカード等で支払います(現金不可)。(R6年2月現在の金額です。例年8月頃に改訂があります。)

## 受講方法は？

<通学講座>と<通信講座>があり、受講する講座によって異なります。

<通学講座>は、基地教育センター内講義室で受講するものです。

<通信講座>は、インターネット等を利用して自宅で受講するものです。

ブリッジプログラムは基本的に<通学講座>となります。

※諸情勢のため、ブリッジプログラムを<通信講座>で行うこともあります。

## 学期は？

<通学講座・通信講座> 年間 5 学期制で、1 学期は 8 週間です。

正規・ブリッジ 共通

Fall Term, Session 1 8 月下旬～10 月中旬

Fall Term, Session 2 10 月下旬～12 月中旬

Spring Term, Session 1 1 月中旬～ 3 月中旬

Spring Term, Session 2 3 月中旬～ 5 月中旬

Summer Term 6 月上旬～ 7 月下旬

## 開講時間は？

<通学講座>

講座により異なります。

一定の曜日(正規コース:週1～2日/ブリッジプログラム:週2日程度)・時間帯で、週3～6時間程度です。主な開講時間は、平日の夕方 17:00 以降～夜間です。これ以外の時間に開講されるものもあります。

例：＜正規コース＞平日 18：00～21：30、17：00～20：30、17：00～21：00 など  
＜ブリッジプログラム＞ 平日 19：00～22：00 など 週 2 日程度  
※ブリッジプログラムの開講曜日と時間は、講師と受講生で日程調整のうえ決定されます。

#### ＜通信講座＞

講座が指定する一定の期間・時間内で、受講します。  
詳しくは大学ホームページをご覧ください。

### どんな講座〔正規コース〕がありますか？

学期により異なります。開講予定の講座は、大学ホームページに掲載されます。通信講座は、通学講座に比べ、より多く開講されています。

開講予定の講座は、変更される場合があります。また、受講希望者が一定数に足りないときは、開講されません。詳しくは、大学ホームページをご覧ください。

### 受講登録の方法は？

受講登録の日程は大学ホームページに掲載されます。各学期が始まる前の1ヶ月程度が科目登録期間ですが、「米軍人、軍属及びその家族」に該当しない日本人学生は、定員に空きがない場合、登録ができない場合があります。インターネットを介して登録手続きをします。

### 1 学期に登録できる講座の数は？

1 学期に1～2 講座が一般的です。教科書の通読、レポート作成等には、相当の時間と労力を要します。はじめて受講する学期には、1 講座という方が多いでしょう。

### どんな宿題がありますか？

レポート提出のほか、教科書や参考書の通読などの予習復習が必要です。受講者の方の話では、宿題は多く、毎回出るとのことです。テストもたくさんあり、意欲をもつことが大切です。

### 1 講座あたりの受講者数は？

1 講座あたりの定員は 25 名程度ですが、各講座 10～20 名程度の生徒が受講しています。通常、受講者数は一般教養の講座は多く、専門講座になると少なくなる傾向があります。

### 通信教育とは何ですか？

UMGC には Distance Education (DE) と呼ばれる通信教育があります。UMGC の通信教育 (DE) は、インターネットを利用し、大学の授業配信プラットフォームを介して自宅で受講するものです。

講座が指定する一定の期間・時間内で、受講します。毎週、講師から何らかのレポートの作成や出題に対する解答が求められますので、期日までにインターネットを利用して提出

します。時には同じ講座を受講する他の学生と連絡を取り合うこともあります。最終試験は、基地教育センター建物内のコンピュータ室で受験します。

詳しくは大学ホームページをご覧ください。

### ブリッジプログラムとは？

日本人など英語を母国語としない人を対象にした入学準備コースに該当します。アメリカの大学教育を受ける上で必要となる基本的な英語の口頭・筆記スキルなどを強化するプログラムで、必修科目等を一定の成績以上(評価 C 以上)で完了すると、メリーランド大学の正規コースの学生として編入することができます。

ブリッジプログラムの必修5科目は、1年を通して修了するプログラムとなっており、指定された順番で受講することとなります。単位を落とした場合は、次には進めず1年間待って同じコースを受講することとなります。

[ブリッジプログラム必修科目及びスケジュール (予定)]

|                        |             |  |
|------------------------|-------------|--|
| Fall Term, Session 1   | 8月下旬~10月中旬  | Interpersonal Communication Skills     |
| Fall Term, Session 2   | 10月下旬~12月中旬 | Integrated Skills for College Literacy |
| Spring Term, Session 1 | 1月中旬~3月中旬   | Integrated skills for Academic Success |
| Spring Term, Session 2 | 3月中旬~5月中旬   | Academic Writing I                     |
| Summer Term            | 6月上旬~7月下旬   | Academic Writing II                    |
| Optional               | 8月中旬~10月中旬  | Foundations of Speech Communication    |

開講予定の講座は、変更される場合があります。また、受講希望者が一定数(9人)に足りないときは、開講されません。詳しくは、大学ホームページをご覧ください。

### 仕事の都合で欠席しなければいけない場合はどうなりますか？

ブリッジプログラムの場合、開講がきまると1年間を通じて基本的に同じ曜日、時間となります。

都合による遅刻や欠席等の対応は、レポート等を提出する等で講師と個別で調整できる場合があります。ただし、全く出席せずに、単位を取得することはできません。

### 別の大学で取得した単位を、基地内大学の単位として認めてもらえますか？

日本国内や海外の大学で取得した単位を、基地内大学へ算入できる場合があります。詳しくは、就学後に大学の担当者にご相談下さい。

### 就学後、しばらく受講できない場合はどうなりますか？

毎学期受講しなくてはならないいきまりは、ありません。仕事や家庭の都合、興味のある講座のみ受講したい、基地入門手続きが煩わしい、などの理由で受講を中断する方も多いますが、就学の最長年限は定められていないので、再び受講することができます。

### 学位は？

UMGCではBachelor(学士相当)とAssociate(準学士相当)の学位が取得できます。学位を目指す方は、各大学の担当者(アカデミックアドバイザー等)と相談しながら、長期的に単位取得する必要があります。

### **基地内大学で学ぶために必要な基地入門手続きとは何ですか？**

基地憲兵隊（PMO）の基地入門許可が必要です。詳しくは、就学者オリエンテーションで説明があります。

### **基地入門が許可される日・時間はいつですか？**

通常受講する講座がある日・時間に前後 30 分～1 時間程度を加えた時間帯に限り、入門許可証が発行されます。入門許可証が発行されるまでは、基地教育センター職員もしくは大学関係者がエスコートします。

基地入門許可の取り扱いは、警備状況により変更されることがあります。

### **基地内大学に就学する者は、基地内のほかの施設を利用できますか？**

大学の施設と図書室のみ利用できます。このほかの施設を利用するときや許可された時間を超えて基地内に滞在するときは、別の許可が必要です。

### **軍関係者を優先するとは具体的にどういうことですか？**

受講登録期間には「米軍人、軍属及びその家族」が先に登録を行うほか、1 講座の中で地位協定に該当しない日本人学生の数が一定の割合を超えないよう制限があります。また基地入門許可の内容は限定的なものですので、事実上、図書室の利用などにも差があります。

### **通学手段、方法は？**

基地内での移動は、基本的に車やスクーター、自転車などとなります。正門から建物までは 2 キロあり、徒歩は夜間で暗くて遠いのでおすすめできません。スクーター、自転車は反射ベストとヘルメット着用が必要です。毎回正門で入門手続き(身分証明書や車両乗り入れの場合は車検証や自賠責証明書等の提示とサイン)が必要となります。

### **これまでの就学者数、最近の受講者数は？**

平成 3 年度から令和 5 年度に、市を通じて就学した人は、約 200 名です。令和 5 年中の日本人の就学者数は、ブリッジプログラム 2 名でした。

なお、岩国基地内大学全体での受講者数は例年約 150 名以上となっています。

### **どんな人が就学していますか？**

これまでの就学者は、職業をお持ちの方、退職された方、主婦の方など様々です。目的も、英語力を維持又は向上させたい、留学予定なので授業の雰囲気慣れたい、生涯学習として興味ある講座を受講したい、学位を目指したいなど多様です。

近年の受講者の中では、基地内で勤務する日本人の方の割合が高くなっています。これは、開講時間と勤務の休憩・終了時間が一致しやすいこと、基地入門が比較的容易であること、なども関係しているようです。

### 正規コース受講者の声

- 外国にいくより経済的に軽く、環境を変えずに学習することができる。3時間の授業は疲れるがモチベーションが大事である。(H24年度ブリッジ・H25年度正規コース受講者)
- アメリカ本国の大学と変わらない環境の中で、指導熱心な教授の授業を受けることができる。クラスの規模が小さいことが多いので、ディスカッションやプレゼンテーションなど、より生徒が積極的に参加する機会に恵まれる。アメリカ留学を考えている人のステップにぴったりだと思う。(H25年度正規コース受講者)
- オンライン講座では、毎週先生から読み物やビデオの宿題と3つの小テストがあり、その週のトピックについてクラスメートと意見を交換したりした。仕事を二つ持っているため、学校に通うのは難しいと思っていたが、オンラインだと自分のペースで勉強できるので便利。東アジア学の専攻だが、日本の歴史をアメリカからの視点で勉強できるのは興味深い。(H27年度正規コース受講者)

### ブリッジプログラム受講者の声

- 自分の英語に自信が持てるようになった。
- 自分の英語がきちんと伝わっているのか半信半疑だったが、自分で気づかない間違いが発見できた。
- 個人のレベルにあった指導をしてくれる。
- 説明会の時点では悩んでいたが、1歩踏み出して受講し本当によかったと思う。
- 今まで発音は避けてきていたが、授業を通してその大切さも痛感し、授業のテスト等で使う発音のソフトで練習しているがとても役立っている。授業も週6時間と多く、宿題も多いので仕事との両立は正直大変だが、タイムマネジメント力も身につく。グループディスカッションもあり、エネルギー問題や家族についてなどオピニオンを求められる。生徒も市外の人や英語以外にも積極的に色々活動している人が多く、みんな志が高いので刺激をもらえる。そういう人達に出会えたのも自分にとって大きかった。悩んでいるなら、是非一歩踏み出して欲しい。(H29年ブリッジ修了生&正規コース受講生 50代男性)
- ライティングが特に鍛えられた。エッセイの書き方について知識も深まり、実践力もつき、ブリッジを受けてよかった。年齢的に物忘れもあるが、だからこそそれ以上に物を入れるように努力するべきだと思っている。大変だったが勉強する習慣がついた。先生も熱心で、みんなも頑張っていた。こういう環境は中々ないので、是非一歩踏み出して欲しい。(H29年ブリッジ修了生&正規コース受講生 60代男性)
- ブリッジプログラムでの学びは、大学で必須となる論文の作成方法と発表。日本語で考えても難しい課題が与えられ、英語でそれを表現するという苦労が、英語への苦手意識を軽減しつつ奥深さも知れた。(H29年ブリッジ修了生&正規コース受講生 30代女性)
- リスニング力と英語を話す度胸がついた。グラマーが今までよく分からなかったが、理解することが出来た。教材がよかったと受講生の間でも好評だった。プレゼンテーションは、テーマについて調べて考えをまとめるのが大変だったけど充実していた。ブリッジをとったことで、海外担

当の仕事を出来るようになった。(H30年ブリッジ修了生&正規コース受講生 40代女性)  
○授業は大変だが、楽しい方が勝つ。英語のレベルは受講生でバラつきがあるが、色々なバックグラウンドを持った方が集まっているので刺激をもらった。(H30年ブリッジ修了生&正規コース受講生 30代女性)

正規コース受講者体験談

H28年度 正規コース推薦就学者

メリーランド大学には、通学タイプと通信教育の二つのタイプの授業がある。

●通学型＝基本的には一般教養科目を開講（例：英語のライティング、数学、〇〇学入門といった、日本でも大学の1～2年次に学習するような内容）。毎日1時間半程度、または週2日2～3時間教室で講義を受け、残りはオンラインで学習するというもの。基地内では、学生の数限られているため、先生が一方向的に話続ける一般的な講義形式ではなく、グループディスカッションを活用。（→アメリカ人学生と同等の英語力がないと厳しい。ただし、授業に出さえすれば出席点はもらえるし、分からないところはすぐに先生から指導を受けることができるというメリットあり。）

●通信教育＝全科目が対象（基地内で開講される科目は限られているので、学位の取得を目指すのであれば、通信教育がメイン）。科目による差はあるが、一般的に、毎週テキストを読み（P.50程度）、関連するトピックに対して、ディスカッションを行う（チャットやビデオではなく、掲示板）。基本的に自分の都合のよい時間に勉強ができる。（ただし、自分の投稿に返答があったり、他のクラスメートへの投稿に意見することが求められるため、頻繁なチェックが必要）。ディスカッションが出席点代わり。英文を作る時間はあっても、内容が評価対象になるので、中身がない投稿をしても点数が稼げない。不明な点は講師にメールすれば、すぐ回答が得られるが、ニュアンスでのやりとりができない。

どちらのタイプのコースも課題の量は一緒。

例) ライティングー4エッセイ+小テスト6。

数学ー毎週の宿題提出、小テスト、最終テスト。

心理学研究法ー小テスト3、最終テスト、論文課題が1、2個（3～4又は10ページ）、プレゼン資料。

→どのコースでも毎週毎週一個以上の提出物があるという感じ。

日本の大学と比べ、かなりの勉強量が求められる。一つのコースが8週間で1セッションという短い期間に凝縮されているため。しかし、日本の大学のように1学期が長くないため、短期間で単位をとっていけるというメリットあり。

\*個人的には、2年で学位取得を目指しているため、1セッション2コースのペースで受講。一日だいたい2時間くらい、課題提出前にはほぼ徹夜。しかし、日本のような修業や在学年限がないため、個人個人の都合に応じ、いくらでも期間を設けることもできるし、最初は勉強に時間がかかっても、英語力が向上して英語論文の作成要領も慣れてくると、勉強時間も少なくて済むはず。

## ■応募から選考面接、就学開始までの流れ■

### 募集要項と願書入手（4月2日～）

岩国市役所都市交流室の窓口や岩国市ホームページから入手できます。

### 出願書類の提出（4月2日～5月16日）

### 面接選考（5月26日）

面接は、日本語で行います。

### 面接選考結果の通知（6月初旬）

結果を通知します。合格者には、追加書類の提出について通知します。

### 面接選考合格者のみ追加書類提出（～6月中旬）

英文推薦状の入手には、時間がかかることがあります。早めのご準備をおすすめします。

### 就学候補者の推薦（6月下旬）

岩国市長は、面接合格者を就学候補者として基地内大学へ推薦します。

### 入学者対象オリエンテーションの開催（7月中旬～下旬）

岩国基地内教育センターで入学者対象のオリエンテーションが開催されます。重要な説明がありますので、必ず出席して下さい。

### 受講登録及び基地入門手続き（7月中旬～8月上旬）

### 岩国基地内大学就学（8月下旬以降～）



■参考 URL・お問い合わせ先■

メリーランド大学 (UMGC) アジア地区

University of Maryland Global Campus Asia

<https://www.asia.umgc.edu/>

<https://bit.ly/2P6PmdT> (クラススケジュール)

米海兵隊岩国航空基地マリーン&ファミリープログラム部

自己及び専門能力啓発プログラム課

Personal & Professional Development (Education), M&FP MCCS, MCAS Iwakuni

電話 0 8 2 7 - 7 9 - 3 0 8 9

岩国市 文化スポーツ課 都市交流室

住 所 〒740-8585 岩国市今津町一丁目 14-51

電話 0 8 2 7 - 2 9 - 5 2 1 1

ファックス 0 8 2 7 - 2 1 - 3 4 5 6

電子メール [kokusai@city.iwakuni.lg.jp](mailto:kokusai@city.iwakuni.lg.jp)

岩国市ホームページ <https://www.city.iwakuni.lg.jp/>

基地内大学の授業は、全て英語で行われます。語学学校ではありません。  
大学は、米軍岩国基地内に所在しています。諸情勢により基地入門が制限されて  
就学が難しくなる場合があります。あらかじめ御了承下さい。